

叛旗

共産主義者同盟

発行所/著 限 社
編集人 仲代重雄 発行人 川崎文久
東京都新宿区百人町1-11-101
317番 電話 03(562) 8000
東京1-6-2556番 電話 03(451) 8003
編集 編集委員 岡田 四田 若原
社址 電話 06(451) 4 8 0 3

関西蒼氓社(移転)
大阪市北区神山町26番地
住吉ビル2F
(TEL) 06-312-8286

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

過渡期世界の深部に胎動するものは何か

ベトナム・インドシナ解放闘争と我々の立場

北半球の過渡期世界の深部に胎動するものは何か。それは、ベトナム・インドシナ解放闘争と我々の立場である。この闘争は、単なる民族解放闘争ではなく、世界規模の過渡期を象徴するものである。我々の立場は、この闘争を支援し、世界規模の過渡期を加速させることにある。

ベトナム・インドシナ解放闘争は、単なる民族解放闘争ではなく、世界規模の過渡期を象徴するものである。我々の立場は、この闘争を支援し、世界規模の過渡期を加速させることにある。

この闘争は、単なる民族解放闘争ではなく、世界規模の過渡期を象徴するものである。我々の立場は、この闘争を支援し、世界規模の過渡期を加速させることにある。

世界の過渡性とは何か

世界の過渡性とは何か。それは、世界が過渡期にあることを意味する。この過渡期は、旧秩序の崩壊と新秩序の形成の過程である。我々の立場は、この過渡期を加速させることにある。

世界の過渡性とは何か。それは、世界が過渡期にあることを意味する。この過渡期は、旧秩序の崩壊と新秩序の形成の過程である。我々の立場は、この過渡期を加速させることにある。

民族解放論の帰趨

地域住民の共同利害と歴史的表現

民族解放論の帰趨。それは、地域住民の共同利害と歴史的表現にある。我々の立場は、この共同利害を支援し、歴史的表現を加速させることにある。

民族解放論の帰趨。それは、地域住民の共同利害と歴史的表現にある。我々の立場は、この共同利害を支援し、歴史的表現を加速させることにある。

実践と想像力の喚起

反戦闘争論と革命戦争論の変容

実践と想像力の喚起。それは、反戦闘争論と革命戦争論の変容にある。我々の立場は、この変容を支援し、実践と想像力を加速させることにある。

実践と想像力の喚起。それは、反戦闘争論と革命戦争論の変容にある。我々の立場は、この変容を支援し、実践と想像力を加速させることにある。

共産同理論機関紙
叛旗 第10号
六月発行予定

関西蒼氓社
（新住所）大阪市北区神山町26番地住吉ビル2F
(TEL) 06-312-8286

事務所移転のお知らせ

われわれの擁護すべきものは何か

沖繩闘争の総体像と控訴審への回路

はじめに

「われわれの擁護すべきものは何か」という問いは、沖繩闘争の総体像を捉えるための第一歩である。この問いは、単に「誰が正義か」という単純な問いではなく、社会正義の根拠を問う問いである。沖繩闘争は、戦後日本の歴史の中で最も深刻な社会問題の一つとして浮上り、人々の心を揺るがしている。この闘争の背景には、戦後の沖縄に対する米軍の統治と、それに伴う沖縄社会の深刻な変容がある。この変容は、沖縄の人々の生活と文化に大きな影響を与え、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。

2・6判決の論理と構成

2・6判決は、沖繩闘争の歴史の中で最も重要な判決の一つである。この判決は、沖繩の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いに答えるための重要なステップである。この判決は、沖繩の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いに答えるための重要なステップである。この判決は、沖繩の人々の未来をどうにかするべきか、という問いに答えるための重要なステップである。この判決は、沖繩の人々の心を揺るがし、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。

経済共同体編成と部落問題

経済共同体の編成は、沖縄の発展と安定を促す重要な手段である。しかし、この編成は、沖縄の部落問題をどうにか解決するべきか、という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。

沖繩闘争の総体像と表現の変質

沖繩闘争の総体像は、戦後の沖縄社会の深刻な変容を反映している。この変容は、沖縄の人々の生活と文化に大きな影響を与え、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。

この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに大きな苦しみと不安をもたらしている。この苦しみと不安は、沖縄の人々の心を揺るがし、彼らに「われわれの擁護すべきものは何か」という問いを投げかけている。この問いは、沖縄の人々の苦しみと不安をどうにかするべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の生活と文化をどうにか守るべきか、という問いでもある。この問いは、沖縄の人々の未来をどうにかするべきか、という問いでもある。